

表紙写真説明

浦高中生による

まちづくりへの提言

今年で3回目となる浦河高校生による「子ども議会」が、役場の議場で開かれました

浦河の医療について、医療をもっと身近にするようにしてはどうか。子どもたちに体験事業を広め回数を増やす。映像を使ったり、医療機関の本を置くなど、身近なものにする。カフェテリア等をつくって、病院を一般の人にも開放してはどうかなどの提言がありました。患者にもインタビューをして

まとめた提言は、なかなか説得力があります。

「子ども議会」というけれど本物の議員さんもびっくりするような提言です。

こんなにも真摯にしっかりとした生徒達、浦河の将来も安心できるのではないのでしょうか。皆さんにはぜひ、浦河に戻って来てほしいものです。

町長からは「皆さんが浦河に戻ってくるころまでには、提言されたことを一つでも実施しておきたい」とエールを送っていました。

最後に、高校生一人一人から将来の目標が話されました。頼もしく語られた「子ども議会」です。

30年ぶりの年末年始

連合大売出し

この事業は、地域商品券を呼び水とした年末年始連合大売出し抽選会をあわせて実施することにより、年末に向けての大型店や地域外への買い物客の流出防止に結びつけるとともに、約30年ぶりに復活させる抽選会をもつて、新たな商店街のにぎわいや活性化に寄与することを目的としています。

実施主体は、浦河町商店街連合会で、平成24年12月1日から平成25年1月10日の期間で1億2500万円の売上げを目標とし、そのうち地域商品券で48

00万円の売上げを見込んでいます。

登録加盟店は負担金として、売上げの2%を負担します。

浦河町は地域商品券発行事業の発行額4800万円のなかでプレミアム分(20%)800万円と事務費として250万円を補助します。それと大売出し抽選会事務費として50万円を補助し、総額で補助額は1100万円になります。

地域商品券発行事業は5回目を迎え新たな事業展開に進んだことは喜ばしいことです。

編集後記

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、お正月。みなさんは如何お過ごしでしょうか。もともととお正月とは年神様といつて、どの家にも訪れ「福」を受け年をとらせるおめでたい神様を迎え祭る行事をいうそう、昔はお正月に皆が一斉に年をとつていました。かぞえ年とはその頃の名残りだそうです。

議会も先月の12月定例議会からライブ中継し、録画も各議員別に一般質問が見られるようになりました。皆さんはもう見られたでしょうか。

昨年慌ただしく挙行された総選挙で国民の審判は3年前の政権に日本の舵取りを委ねた。原子力政策・TPP問題、そして景気対策など数々の課題を抱えているが国民のためにスピード感を実感できる政治を願いたい

議会広報特別委員会委員

- 委員長 佐藤利明
- 副委員長 中山康子
- 委員 米山友光
- 鎌田信一
- 飯田美和子
- 萩野節子
- 榊野秀男

議会のおもなうごき

【11月】

- 1日 議会運営委員会
- 6日 産業建設常任委員会
浦河町商店街活性化事業について(了承)
- 8~9日 第6回町議会(臨時会)
- 8日 議会運営委員会
- 9日 総務財政常任委員会
町有地の貸付について(了承)
- 21日 議会運営委員会
- 29日 厚生文教常任委員会
福祉灯油支給事業について(了承)
- 〃日 産業建設常任委員会
「アエル」上半期分の営業報告について(報告)

【12月】

- 4日 議会運営委員会
- 11~13日 第7回町議会(定例会)
- 11~12日 議会運営委員会
- 13日 議会広報特別委員会
- 25日 議会広報特別委員会



地域商品券販売のようす